

2019 年 10 月 23 日

公認心理師養成カリキュラム 大学・大学院 ご担当者様

公認心理師養成大学教員連絡協議会（公大協）

公認心理師の大学カリキュラムの調査延長のお願い
【第 1 部大学カリキュラム調査を 12 月 10 日まで延長します】

平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

公認心理師養成大学教員連絡協議会（公大協）では、公認心理師制度の充実のために、全国の大学の養成カリキュラムと実習についての調査をしています。

2018 年に第 1 回、2019 年 7 月に第 2 回調査を実施しました。

第 2 回調査は、「第 1 部 大学学部カリキュラムについて」と「第 2 部 現場実習（大学院および大学学部）について」の 2 部構成になっておりましたが、第 1 部について、〆切を延長して追加回答を募集いたします。

延長の回答期限は、2019 年 12 月 10 日（火）です。

調査結果は、公大協において集計し、統計データを公開します。回答は統計的に処理し、調査結果の公表においても個別情報には十分に配慮いたします。

大変お手数をおかけし誠に恐縮ですが、調査の趣旨と重要性をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

ひとつの大学・大学院で公式の回答をひとつにまとめて代表者に回答いただいても結構ですし、それぞれの担当教員が担当されている部分についてのみ回答されても結構です。
大学・大学院としての公式の回答でなくても、担当教員の個人的な意見でも結構です。
また、匿名でのご回答も可能です。

質問項目

大学学部カリキュラムについて

詳細は、次のページに記載されている URL から Web 入力フォームを表示するか、もしくは調査票のファイルをダウンロードしてご覧ください。

想定される回答時間

5 分程度

回答方法

2 つの回答方法があります。

1) Web 入力 (Google フォーム)

2) または、調査票のファイル (Word または PDF) をダウンロードし、所定の事項を記入の上、メール添付、郵便、FAX にてご返送ください。

Web 入力フォーム・調査票ダウンロード URL

https://psych.or.jp/qualification/shinrishi_info/shinrishi_training/aticpp2019survey/



※日本心理学会ホームページのトップ (<https://psych.or.jp/>) からは、
公認心理師について> 公認心理師養成大学教員連絡協議会のページへと
進んでいただくと、本調査のページにたどり着くことができます。

回答期限

2019 年 12 月 10 日 (火)

回答先・問い合わせ先

公認心理師養成大学教員連絡協議会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 5-23-13 田村ビル内

公益社団法人日本心理学会事務局内

TEL : 03-3814-3953 FAX : 03-3814-3954 メール : jpa@psych.or.jp

大学学部カリキュラムについて

現在、公認心理師カリキュラムを実施されている大学にお尋ねします。教育の質を低下させないために様々な試みをなさっておられると存じます。現状と工夫についてお尋ねします。

問1 従来、独立していた科目を「・」で繋げた科目（いわゆるナカグロ科目）についてどのように実施されていますか？

次のような方法が考えられます。各ナカグロ科目について、A,B,C,D のいずれの方法で対応しているかについて表にご記入ください。

A そのままナカグロ科目1科目として実施している

ナカグロ科目1科目としてではなく、それぞれの科目の従来の単位数を確保するために、**ナカグロ科目を複数の科目として小分けして実施している場合**、その実施の仕方について教えてください。

B ナカグロで繋がれた科目をそれぞれ独立させて、実施している（例えば、知覚・認知心理学Ⅰ、知覚・認知心理学Ⅱ、学習・言語心理学Ⅰ、学習・言語心理学Ⅱなど）

C 公認心理師カリキュラムの科目は科目としてナカグロ科目は1科目としてそのまま実施し、従来の科目は従来通り実施している（例えば、社会・集団、家族心理学、社会心理学、集団心理学、家族心理学というように）

D その他の方法

科目名		単位数 ※	対応方法			
1	知覚・認知心理学		A	B	C	D()
2	学習・言語心理学		A	B	C	D()
3	感情・人格心理学		A	B	C	D()
4	神経・生理心理学		A	B	C	D()
5	社会・集団・家族心理学		A	B	C	D()
6	健康・医療心理学		A	B	C	D()
7	教育・学校心理学		A	B	C	D()
8	司法・犯罪心理学		A	B	C	D()
9	産業・組織心理学		A	B	C	D()

※対応方法B（ナカグロで繋がれた科目をそれぞれ独立させて、実施している）の場合の単位数は、独立させた各科目の単位数の合計をご回答ください。

問2 卒業論文は公認心理師カリキュラムには設定されていませんが、貴学では従来通り、卒業論文（卒業研究）を必修として求めていますか？

☐ 従来通り。卒業論文（卒業研究）は求めている。

☐ もともと、卒業論文は求めている。

☐ 公認心理師カリキュラム導入以降、卒業論文（卒業研究）はカリキュラムから外した。

☐ 現在は卒業論文を求めているが、将来はカリキュラムから外す予定である。

公認心理師カリキュラムと卒業論文について、お考えを自由にお書きください。

()

問3 公認心理師カリキュラムの実施に当たって、新たに教員を確保しましたか？

☐ はい

☐ いいえ

「はい」の場合、それは常勤ですか、非常勤ですか？ 科目名を記入してください。

常勤で採用した科目名 ()

非常勤で採用した科目名 ()

問4 公認心理師カリキュラムの実施以降、貴学での心理学教育の質がどう変化すると予想されるかということについて質問します。

今後、心理学教育の質は

☐ 変わらない

☐ 向上する

☐ 低下する

☐ わからない

問5 貴学では、コンソーシアム（複数の大学が協力する制度）や他大学との単位互換などによって公認心理師カリキュラムを整備することを必要としていますか。

☐ はい

☐ いいえ

コンソーシアム制度や他大学との単位互換について、お考えを自由にお書きください。

()

問6 公認心理師カリキュラムと心理学の学部教育の現状と今後について、お考えを自由にお書きください。

()

以上で質問は終了です。ご協力誠にありがとうございました。